

## 6年生 1時間目

【新しい表現】 アルファベット①

【ねらい】

アルファベットクイズやアルファベットカルタの活動で、担任や ALT が言ったアルファベットを探すことを通して、アルファベットに興味を持って活動をする。(言語や文化)

【準備品】 パソコン・プロジェクター (担任)、アルファベットカルタ (ALT) (児童)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ ①ALT: Hello. I'm 名前. HRT: Hello. I'm 名前. ②ALT: Hello. I'm 名前. 子ども: Hello. I'm 名前. (3人にきく) ③Hello のあいさつゲーム クラスの友達全員と Hello .I'm 名前.I like~.のあいさつをしたらすわる。	10
聞く活動	(2) 活動①【アルファベット探し】(英語ノート P4・5)  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             《めあて》              アルファベットを探そう。           </div> ①教師が隠れているアルファベットを1つ言う。 ②ペアで,指導者の言うアルファベットを指さし競争する。早く指さした方が1ポイントもらう。 *プロジェクター・スクリーン	10
聞く活動	(2) 活動②【アルファベット・カルタ】 ①1人ずつカルタカードを広げる。 ②教師が英語で言ったアルファベットカードを取る。 *アルファベット・カルタ (英語ノート巻末)  <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>【評価】</b>              ・アルファベットの文字に興味を持ち、アルファベットの大文字の違いに気がついている。《行動観察》           </div>	10
	(3) 次単元の導入【Dot to dot】 ①英語ノート P6を開く。 Let's play sen-tunagi. (ゆっくり、子ども達の様子を確認しながら言う) ②担任の先生は、ALT が言ったら、それを一度リピートしてあげると良い。 問題 1 JSEAMTPNBFHORYC 問題 2 AMGDYVOINWSJQHFUB 問題 3 WAY7BQZC16 2 N12 13 19 UG17MFW 問題 4 H18R3OD11KJI14LPH	10
	(3) 感想を書く。(ここは、担任の先生が進めてください) 感想用紙に記入をする。	5

## 6年生 2時間目

【新しい表現】 アルファベット②

【ねらい】

アルファベット文字作りやカルタ活動で、友達と一緒に身近にある略文字を作ったりカードを探したりことを通して、アルファベットの文字に慣れ親しむ。(慣れ親しみ)

【準備品】 アルファベットカルタ (児童) 英語ノート (児童)

段階	活動	時間
	(2) あいさつ	5
聞く活動	<p>(2) 活動①【アルファベット文字作り】</p> <p>①教師が,CM,NHK 等例を示し、アルファベットで略語を作ることを話す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《めあて》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットで、略語を作ろう。</li> </ul> </div> <p>②ペアで大文字のカルタセットを出す。</p> <p>③ペアで相談しながら、略文字をできるだけたくさん作る。</p> <p>④できたら、お互いのを見て回る。</p>	15
聞く活動	<p>(2) 活動②【アルファベット・カルタ】</p> <p>①1人ずつカルタカードを広げる。</p> <p>②教師が英語で言ったアルファベットカードを取る。</p> <p>*アルファベット・カルタ (英語ノート巻末)</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットの文字に興味を持ち、アルファベットの大文字の違いに気がついている。《行動観察》</li> </ul> </div>	15
聞く活動	<p>(3) 次単元への活動【英語ノート Activity1】 (英語ノート P9)</p> <p>①英語ノート P9 の活動</p> <p>②教室内で見つけたアルファベットで書かれた単語を P9 に記入する。</p> <p>②全員が書き終わったら、読み方を知りたい単語を ALT に聞く。</p>	5
	<p>(4) 感想を書く。(ここは、担任の先生が進めてください)</p> <p style="padding-left: 20px;">感想用紙に記入をする。</p>	5

## 6年生 3時間目

【新しい表現】 How many~?①

【ねらい】 動物探しの活動場面で、友達と相談したり ALT が出すヒントを聞いたりしながらどこの国の文字かを考えることを通して、世界の様々な文字の興味を持つ。(言語や文化)

【準備品】 アルファベットカルタ(ALT),英語ノート(児童)

段階	活動	時間
	(3) あいさつ	5
口まねする活動	<p>(2) 活動① 【英語ノート P10,11 Activity】 詳細は、指導資料 24</p> <p>①ポスターにどんな動物がいるかを聞く。教師は、動物の名前を英語で確認していく。教師：What animal do you see?</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《めあて》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どこの国の文字かを考えよう。</li> </ul> </div> <p>②動物の近くに書かれている文字がどこの国かを児童に尋ねる。</p> <p>③文字が使われている国を世界地図で示す。</p> <p>④それぞれの動物が何頭いるかを聞く。</p> <p>教師：How many~ are there?</p> <p>⑤児童が答えた数字を黒板に書く。児童が日本語で答えた数については、教師が英語で答える。</p> <p>⑥出てきた数字を教師と一緒に言ってみる。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どこの国の文字かを考えてつぶやいたり発表したりしている。</li> </ul> <p>《行動観察》</p> </div>	15
自分の意思で選んで発話する活動	<p>(2) 活動② 【数字ピラミッドゲーム】</p> <p>【英語ノート 1 の P19 数字ピラミッド】 ※英語ノート 1 指導資料 P47</p> <p>①黒板に掲示してルールを説明する。代表の子を出して、その場でやってみせる。(1～30までの数字を使って行う)</p> <p>②1人の友だちとは、1回。たくさんの友だちとやる。</p>	15
	<p>(3) 次単元への導入 【数字キーワードゲーム】</p> <p>①10、20、30、40、50、60、70、80、90、100の数字を使って、キーワードゲームをする。</p>	5
	<p>(4) 感想を書く。(ここは、担任の先生が進めてください)</p> <p>感想用紙に記入をする。</p>	5

## 6年生 4時間目

【新しい表現】 How many~?②

【ねらい】 キーワードゲームやバズゲームの場面で、100までの数字を教師の後にリピートしたり友達と一緒にいたりすることを通して、1～100までの数字に慣れ親しむ。  
(外国語への慣れ親しみ)

【準備品】 アルファベットカルタ(ALT)、有名人カード (ALT)、国旗カルタカード(ALT)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	
聞く活動	(2) 活動①【聞こえた数字のブロックに色をぬろう】(英語ノートP12)  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             《めあて》              ・数字を聞いて、ブロックに色を塗ろう。           </div> ① ALTや担任が言う数字をリピートしブロックに色をぬる。 ② 教師のヒントを頼りに、192, 54の数字が表すものを考え発表する。 (192:世界の国数 54:英語を公用語として使う国数) ③なぜ外国語の中でも英語をとりあげて学習するのか考える。 ④時間があれば、プリントで別の問題をする。	15
記憶し自分のものにする活動	(2) 活動②【数字キーワードゲーム】 ①10、20、30、40、50、60、70、80、90、100の数字を使って、キーワードゲームをする。  <b>【バズ・ゲーム】</b> 詳細は指導資料 P27 参照 ①4人のグループに分かれて、グループの中で協力して行う。 ②グループの中で順番に1～100(児童の実態に応じて変える)を言わせる。 ③2回目は、3の倍数は言わずに手を叩く。 ④グループの中で4の倍数、5の倍数などと決めて同様に行う。  <div style="border: 3px double black; padding: 5px;"> <b>【評価】</b>              ・グループの中でお互いに助け合いながら、ゲームを楽しみながら100までの数字を言っている。《行動観察》           </div>	20
	(3) 次単元への導入【なし】	0
	(4) 感想を書く。(ここは、担任の先生が進めてください) 感想用紙に記入をする。	5

## 6年生 5時間目

【新しい表現】 What～do you like?①

【ねらい】 先生のヒントクイズやヒントカルタの活動で、担任や ALT が出す英語のヒントを聞き誰のことを言っているのかを考えることを通して、I like～. I don't like～.に慣れ親しむ。(慣れ親しみ)

【準備品】 ①キャラクターイラスト等 (ALT) ②先生たちの写真 (ALT)  
③動物・キャラクターカルタ (ALT) ④スポーツイラスト (ALT)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	5
聞く活動	<p>(2) 活動① 【I like～.I don't like～.ヒントカルタ】</p> <p>【ヒントカルタ】※動物とキャラクターのカルタカードを用意する。</p> <p>① 2人一組になり、カルタカードを広げる。</p> <p>② 教師が I like, I don't like のヒントを出す。 T:I like fish. 等 I don't like . . . .</p> <p>③ 児童は、何の動物か分かったらカードをとる。</p> <p>例) さる . . . I like bananas. I don't like dogs. ネズミ . . . I like cheese. I don't like cats.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>《めあて》 I like～. I don't like～.を聞いて、誰(何)のことかを当てよう。</p> </div>	15
聞く活動	<p>(3) 活動② 【I like～.先生ヒントクイズ】</p> <p>①先生たちの写真を黒板に貼る。</p> <p>②ヒントシートを提示して、その中から聞きたい項目を児童に選ばせ、質問する。(ALTと担任で、質問役と答える役を行う)</p> <p>③ヒントを I like～. I don't like～.を使って出す。 T:I like じゃがいも. T: I don't like mice. Who is this?</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価】 ・担任や ALT が出す英語のヒントを聞き、誰のことをいっているかを考えている。《行動観察》</p> </div> <p>④子どもたちはヒントを聞き、お隣の友達と予想する。</p>	15
	<p>(4) 次単元への導入【スポーツ名ヒント①】</p> <p>①ALTと担任が交代で、スポーツのヒントを英語で出す。</p> <p>②分かった児童が答える。</p>	5
	<p>(5) 感想を書く。(ここは、担任の先生が進めてください) 感想用紙に記入をする。</p>	5

## 6年生 6時間目

【新しい表現】 What~do you like?②

【ねらい】 キャラクタークイズやカルタの活動で、友達が出す英語のヒントを聞き誰の  
ことを考えたりカルタゲームで質問に答えたりすることを通して、What~ do you like? I like~  
に慣れ親しむ。(慣れ親しみ)

【準備品】 キャラクターカード (ALT) カルタセット (ALT)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	5
聞く活 動 口まね する活 動	<p>(2) 活動①【キャラクタークイズ】</p> <p>①担任がアニメキャラクターの好きな物と嫌いな物を言い、何のキャラクターのことを言っているかを当てさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>《めあて》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクタークイズをしよう。</li> </ul> </div> <p>②希望する児童に、先生役をやらせる。</p> <p>③前に来て、キャラクターカードを1枚引く。</p> <p>④そのカードを見て、I like~. I don't like~.のヒントを言う。</p>	15
記憶し 自分の ものに する活 動	<p>活動②【カルタゲーム】</p> <p>①4人1組になり、動物・果物・色・食べ物カード等を並べる。</p> <p>②担任とALTが交代でWhat~ do you like? とはじから聞いていく。 質問された児童がI like~.と答えたカードを取る。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達が答えた英語を聞き、そのカードを取ろうとしている。</li> </ul> <p>《行動観察》</p> </div>	15
	<p>(4) 次単元への導入【スポーツ名ヒント②】</p> <p>①ALTと担任が交代で、スポーツのヒントを英語で出す。</p> <p>②分かった児童が答える。</p>	5
	<p>(3) 感想を書く。(ここは、担任の先生が進めてください)</p> <p>感想用紙に記入をする。</p>	5

## 6年生 7時間目

【新しい表現】 What～do you like?③

【ねらい】 何が好きかをインタビューする場面で、自分が聞いてみたいことを学級名簿でチェックしながら友達に質問をすることを通して、英語を使って相手とコミュニケーションを楽しんでいる。(コミュニケーション)

【準備品】 ルーレット (ALT) 好き嫌いシート(ALT) 学級名簿 (担任)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	5
口まねする活動	<p>(2) 活動①【ルーレット質問 guessing game】</p> <p>①担任と ALT が交代でルーレットを回し、児童に何が好きかを予想させてからみんなで質問をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>《めあて》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の友達が何が好きかを予想してから、質問しよう。</li> </ul> </div> <p>②代表の児童について同様にして行う。</p>	15
記憶し自分のものにする活動	<p>(3) 活動②【何がすき？インタビュー】</p> <p>①学級名簿を一人1枚配布する。                  ②自分が友達に質問したいことを決める。What～do you like?                  ③グループの中でお互いに質問をする。                  ④学級全体でお互いに質問をする。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・What～do you like?を使って質問したり、I like～.と答えたりする活動を積極的にしている。《行動観察》</li> </ul> </div> <p>⑤次時に使用する What～do you like?シートに記入をする。                  (時間がなければ、別の時間で記入をお願いします。すみません。)</p>	15
	<p>(3) 次単元への導入【スポーツ名キーワードゲーム】</p> <p>①スポーツイラストを黒板に貼り、キーワードゲームをする。</p>	5
	<p>(3) 感想を書く。(ここは、担任の先生が進めてください)                  感想用紙に記入をする。</p>	5

## 6年生 8時間目

【新しい表現】 What~do you like?④

【ねらい】 Who am I?クイズの活動場面で、誰のカードを持っているかを当てるゲームを繰り返すことを通して、英語を使って相手とコミュニケーションを楽しんでいる。  
(コミュニケーション)

【準備品】 Who am I?シート (ALT)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	5
自分の意思で選んで発話する活動	<p>(2) 活動①【Who am I?クイズ①】</p> <p>①前時に記入した Who am I?クイズシートを使って、相手が持っているカードが誰かを当てる活動をする。こと説明する。</p> <p>②前時に記入した Who am I?クイズシートをばらばらに配る。このとき「シークレット」と言って裏返しにして配る。</p> <p>③担任と ALT で例示をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>《めあて》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ I like~. を聞いて、誰のことかを当てよう。</li> </ul> </div> <p>④グループ内でお互いに質問して誰のカードかを考える。</p> <p>C:What~ do you like? C1:I like~. C:What~do you like? C1:I like~. C :May be ○○さん?</p>	15
自分の意思で選んで発話する活動	<p>(3) 活動②【Who am I?クイズ②】</p> <p>①活動①で良かった点や改善することがあれば、全体で取り上げて指導をする。</p> <p>例) ~さんのアイコンタクトが良かった。質問の仕方が良かった。等</p> <p>②全体でばらばらになり、Who am I?クイズを行う。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ What~do you like?を使って質問したり、I like~.と答えたりする活動を積極的にしている。《行動観察》</li> </ul> </div>	15
	<p>(4) 次単元への導入【スポーツ名カルタ】</p> <p>①ペアでセットのカルタを並べる。</p> <p>②担任や ALT の出すヒント等でカルタを取る。</p>	
	<p>(5) 感想を書く。(ここは、担任の先生が進めてください)</p> <p>感想用紙に記入をする。</p>	5



## 6年生 9時間目

【新しい表現】 I can swim.①

【ねらい】 昔の遊びのしょうかいや one by one の場面で、担任や ALT が使う Can you~? を繰り返し聞くことを通して、Can you~?の表現に慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)

【準備品】 昔のおもちゃ (ALT) スポーツのイラスト (ALT) 建物カード(ALT)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	5
聞く活動	(2) 活動①【昔の遊びの紹介】 ①昔の遊びを紹介する。 (けん玉、お手玉、こま、あやとり、竹とんぼ等)  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             《めあて》              昔の遊びができるか挑戦しよう。           </div> ②児童にその遊びができるかを尋ねる。 教師：I can ~. Can you do this? 児童：Yes. ③Yes と答えた子には、その場で道具を渡して、やらせる。 教師は、挑戦する児童に Can you do this?と聞いてからやらせる。 ④児童の演技が終わったら、全体にも Can you do this?と質問をして、挙手させる。Yes,I can.と答えさせる。	15
口まねする活動	(2) 活動②【One by one】  ①Can you jump?でロープを飛び越せるかを聞く。 ②スポーツの写真を見せ、担任と ALT とでお互いに質問しあう。 ③担任と ALT が分かれて両端から One by one で質問をしていく。  <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>【評価】</b>              ・ Can you~?の質問に Yes, I can. No,I can't.で答えようとしている。              《行動観察》           </div>	15
	(3) 次単元への導入【建物ヒントクイズ】  ①建物ヒントクイズで出す、建物カードを黒板に貼る。 ②ALT が 3 ヒントで建物のクイズを出す。 Hint①・・・・・・・・。Hint②・・・・・・・・。Hint③・・・・・・・・。 3つのヒントを聞いて、分かった児童は挙手をする。	
	(3) 感想を書く。(ここは、担任の先生が進めてください) 感想用紙に記入をする。	5

## 6年生 10時間目

【新しい表現】 I can swim.②

【ねらい】

“カルタ”や“できる？できない？だれのこと”の活動で、Can you~?の表現を繰り返し聞いたり言ったりすることを通して、Can you~?の表現に慣れ親しむことができる。

(外国語への慣れ親しみ)

【準備品】 ①Can you~カルタ (ALT)・できる、できないシート (ALT)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	
聞く活動          口まねする活動	(2) 活動①【Can you~? カルタ】  ①活動で使う、絵カードを黒板に貼る。 ALT→担任に Can you~?で質問する。 ALT と担任が児童数名に質問する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">             《めあて》              Can you~?の表現を聞いたり、言ったして楽しく活動しよう。           </div> <p style="text-align: center;">Today, Let's study “Can you~?” .Please listen carefully.</p> ②2人一組になり、カルタカードを配付する。 ③ALT と担任で、交代して質問し、児童がカルタカードをとる。 ALT: Can you~? 担任: Yes, I can.の時は、○のカードをとる。 担任: No,I can't.の時は、△のカードをとる。 ④2回目は、児童に1人ずつ順番に当てていき、Yes/No を答えさせる。	15
聞く活動          口まねする活動	(3) 活動②【できる、できない、だれのこと?】 ※三省堂 5,6年 P46 の活動  ①できる、できない、だれのことシートを黒板にはる。 担任、ALT の枠を交代で質問して表に書く。 ②担任とALT で例示をする。 代表の児童に人物カードを引かせる。 ALT と担任がシートに沿って、Can you~?と質問していく。 最後まで質問したら、Who is this?と児童に聞く。 ③なれてきたら、全員で Can you~?と質問する。  <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>【評価】</b>              ・口まねしながら英語を発話し、活動を楽しんでいる。《行動観察》           </div>	15

<p>聞く活動</p>	<p>(4) 次単元の単語【建物ヒントクイズ】</p> <p>①建物ヒントクイズで出す、建物カードを黒板に貼る。          ②ALT が 3 ヒントで建物のクイズを出す。              Hint①・・・・・・・・。              Hint②・・・・・・・・。              Hint③・・・・・・・・。          3つのヒントを聞いて、分かった児童は挙手をする。</p>	<p>10</p>
	<p>(5) 感想を書く。          感想用紙に記入をする。</p>	<p>5</p>

## 6年生 11時間目

【新しい表現】 I can swim.③

【ねらい】 “Guessing game” の活動で、Can you~? の表現を繰り返し聞いたり言ったりすることを通して、Can you~? の表現に慣れ親しむことができる。(音声や言語)

【準備品】 ①Can you~?カード (ALT)・英語ノート P27 できる、できないシート (ALT)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	
聞く活動          口まねする活動	(2) 活動①【Can you~? Guessing game】  ①ALT→担任に Can you~?で質問する。(2～3)  ○○先生、Can you play~?! Next, please guess. Yes,I can. Raise your hands. (先生が Yes だと思いう子は手を挙げる) No,I can't .Raise your hands. (先生が No だと思いう子は手を挙げる)  ②担任→ALT に Can you~?で質問する。 ○○先生、Can you play~?! Next, please guess. Yes,I can. Raise your hands. (先生が Yes だと思いう子は手を挙げる) No,I can't .Raise your hands. (先生が No だと思いう子は手を挙げる)  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">             《めあて》              Can you~?を使って、友達に質問しよう。           </div> ③1 人の子を立たせる。 ④教師が持っている絵カードから 1 枚選び、みんなに見せる。 ⑤立っている子が Yes .No.のどちらを言うかを予想する。 ⑥みんなで Can you play~?と質問する。 ⑦質問された子は、答える。 ⑧数人の子たちに対して行う。 ※ここで使用する絵カードは、子ども達が興味関心を示すものにする。	15
記憶し自分の物にする活動	(3) 活動②【英語ノート P27 グループでインタビュー活動】  ①やり方を例示する。 ・ Make group of 4. (班にする) ・ 代表の子を一人たたせる。 ・ 英語ノート p27 のことが、たっている児童が YES なら○。NO なら△をつける。 ・ 残りのメンバーは、質問カード (机のまんなか裏にしておく) を引	15

	<p>いて、そのイラストについて質問していく。</p> <p>②各班、交代しながらやる。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【評価】</b>  グループの中で教えあいながらインタビュー活動を楽しんでいる。  《行動観察》</p> </div>	
口まねする活動	<p>(4) 次単元の単語【建物キーワードゲーム】</p> <p>①黒板に建物イラストカードをはる。  ②キーワードを児童に決めさせる。  ③教師に続けてリピートする。キーワードは、拍手をする。</p>	10
	<p>(5) 感想を書く。  感想用紙に記入をする。</p>	5

## 6年生 12時間目

【新しい表現】 I can swim.④

【ねらい】 インタビュー活動の場面で、Can you~? の表現を使ってやり取りをすることを通して、友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。(コミュニケーション)

【準備品】 ①Can you~? 導入で使用する道具 (ALT) ②建物カルタカード (ALT)  
③学級名簿人数分 (担任)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	
自分の意志で選んで発話する	(2) 活動①【Can you~? インタビューシート記入】  ①ALT→担任に Can you~?で質問する。 ○○先生、Can you play~? 児童にも数名質問をする。 ②担任→ALTに Can you~?で質問する。 ○○先生、Can you play~? 児童にも数名質問する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">             《めあて》              Can you~?を使って、友達に質問しよう。           </div> ③学級名簿に友達に Can you~?を使って聞きたいことを記入する。	10
自分の意志で選んで発話する	(3) 活動②【Can you~? インタビューシート活動】 ①やり方を例示する。 ALT: Hello.担任:Hello. (アイコンタクト) ALT:Can you ~? 担任:Yes,I can. No I' can't. Can you ~? ALT:Yes,I can. No I' can't. ALT: Bye.担任:Bye. (握手) ②色々な友達とインタビュー活動を行う。 ③友達の意外な答えがあったかどうかを聞く。 「～さんが、○○できるなんてびっくりしました。」等  <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>【評価】</b>              ・アイコンタクトしたり、相手の答えに頷いたりして、コミュニケーション活動を行っている。《行動観察》           </div>	20
聞く活動	(4) 次単元の単語【建物カルタゲーム】 ①2人一組になる。 ②1回目・・・教師が言った単語の建物の絵カードを取る。 ③2回目・・・教師がヒントを言って子どもたちが取る。	10
	(5) 感想を書く。 感想用紙に記入をする。	5

## 6年生 13時間目

【新しい表現】 Turn right.①

【ねらい】 道案内すごろく場面で、turn right 等の表現を聞いたり言ったりすることを通して、turn right 等の表現に慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)

【準備品】 ①道案内シート児童用 (ALT) ②都道府県シート (ALT)

③都道府県ヒントカード(ALT)④日本地図 (ALT) ⑤国旗カルタカード (ALT)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	
口まねする活動	<p>(2) 活動①【指示ゲーム】</p> <p>①教師が、go straight(one step)/turn right/turn left/stop を絵カードで示し、児童は口まねする。</p> <p>②教師が、go straight(one step)/turn right/turn left/stop の指示を出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目は、目を開けて (open eyes)</li> <li>・2回目は、目を閉じて (close eyes)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《めあて》 turn right/turn left を使って、すごろくをしよう。</p> </div> <p>【道案内すごろく】</p> <p>①2人一組になる。すごろくシートと方向指示カードを配布する。</p> <p>②教師が例示をする。</p> <p>③2人でゴールに着くまで行う。</p> <p>④方向指示カードは、引いたら声に出して言う。</p>	10
聞く活動 口まねする活動	<p>(3) 活動②【Where is this?クイズ】</p> <p>①黒板に都道府県すごろくのシートをはる。</p> <p>②児童に方向カードを引かせる。児童が引いたカード (turn right 等) の指示にあわせて、コマを進める。</p> <p>③stop のカードを引いたら、そのマスで止まる。マスには、番号が書いてある。担任は、その番号の都道府県カードをとり出す。</p> <p>④ALT と交代で、その都道府県のヒントを出す。</p> <p>担任：Where is this? Hint ①It's famous for～. ALT:Hint②It's famous for～.</p> <p>担任：Where is this?</p> <p>⑤児童が正解を答えたら、白地図を指し、Where is this?と聞き、場所を探させる。</p> <p>⑥次の方向カードを引かせる。</p>	20

	<p><b>【評価】</b>          ・担任や ALT の出すヒントを聞き、どこの県かを考えようとしている。《行動観察》</p>	
聞く活動	<p>(4) 次単元の単語【国旗カルタゲーム】</p> <p>①2人一組になる。          ②1回目・・・教師が言った単語の国旗の絵カードを取る。          ③2回目・・・教師がヒントを言って子どもたちが取る。</p>	10
	<p>(5) 感想を書く。          感想用紙に記入をする。</p>	5



## 6年生 14時間目

【新しい表現】 Turn right.②

【ねらい】 どこにつきましたかゲームの場面で、turn right 等の表現を聞いたり言ったりすることを通して、turn right 等の表現に慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)

【準備品】 ①英語ノート (児童) ②小布施名所写真 (ALT) ③国旗カルタカード (ALT)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	
聞く活動	(2) 活動①【指示ゲーム】  ①教師が、go straight(one step)/turn right/turn left/stop を絵カードで示し、児童は口まねする。 ②教師が、go straight(one step)/turn right/turn left/stop の指示を出す。 ・1回目は、目を開けて (open eyes) ・2回目は、目を閉じて (close eyes)	15
口まねする活動	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">             《めあて》              turn right/turn left を使って、道案内をしよう。           </div> 【どこにつきましたかゲーム 英語ノート P30,31 Let's Listen】 ①英語ノート P30,31 を開く  ②建物の名前の確認をする。 教師が Where is the~? と建物の名前を言い、児童に指を置かせる。  ③やり方を黒板の掲示用の地図を使って例示する。 スタートする場所は、一カ所に決めておく。 担任：Where is the~? (児童に聞こえないように言う) ALT:OK. ALT:Go straight. 担任：Go straight. と児童と一緒にリピートしてコマを動かす。 同じようにすすめていく。  ④児童も一人ずつ自分のテキストでコマを動かしてみる。 担任：Where is the~? (みんなに聞こえないように言う) ALT:OK. ALT:Go straight. 担任：Go straight. と児童と一緒にリピートしてコマを動かす。 同じようにすすめていく。	

<p>自分の意志で選んで発話する活動</p>	<p>(3) 活動②【Where is ~?教室で道案内】</p> <p>①小布施町の名所等の写真を見せ、言い方を確認する。  ②1列おきに、児童に写真を持たせる。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 100px;"></div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の半分が写真を持つ1列おきに持たせる。</li> <li>・残った児童でペアを作る。</li> <li>・交代で道案内をする。</li> <li>・写真を持つ児童を交代。</li> </ul> <p>③担任とALTが例示をする。  担任：Where is the~? ALT:OK.Go straight.教師を実際に道案内する。  目的地に着いたら、目的地の写真を持っている児童は、小布施シートにサインをする。</p> <p>④代表の児童に全体の前で道案内をさせる。  担任：Where is the~? 児童：OK.Go straight.教師を実際に道案内する。</p> <p>⑤ペアになり、実際に道案内をする。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【評価】</b>  turn right 等の表現を使って相手に分かるように説明し、目的地まで積極的に道案内しようとする。《行動観察》</p> </div> </div>	<p>15</p>
<p>聞く活動</p>	<p>次単元の単語【国旗カルタゲーム】</p> <p>①2人一組になる。  ②1回目・・・教師が言った単語の国旗の絵カードを取る。  ③2回目・・・教師がヒントを言って子どもたちが取る。</p>	<p>10</p>
	<p>(5) 感想を書く。  感想用紙に記入をする。</p>	<p>5</p>

## 6年生 15時間目

【新しい表現】 Turn right.③

【ねらい】

教室で道案内の場面で、turn right 等の表現を使って相手に分かるように説明し、目的地まで積極的に道案内しようとする。(コミュニケーション)

【準備品】 ①英語ノート (児童) ②小布施名所写真 (ALT) ③国旗カルタカード (ALT)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	
自分の意志で選んで発話する活動	<p>(2) 活動①【Where is ~?教室で道案内】</p> <p>①小布施町には、外国人の観光客も沢山来ることを説明する。 もし、そんな外国の方に道を聞かれたら何て答えればいいのか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《めあて》 外国の方に道案内をしよう。</p> </div> <p>②1列おきに、児童に写真を持たせる。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="display: flex; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 100px;"></div> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の半分が写真を持つ1列おきに持たせる。</li> <li>・残った児童でペアを作る。</li> <li>・交代で道案内をする。</li> <li>・写真を持つ児童を交代。</li> </ul> </div> </div> <p>③担任とALTが例示をする。            C1: Excuse me. C2: Yes.            C1: Where is ○○? C2: OK. Go straight. . . . .            C1: Thank you. C2: You're welcome.            C1: Bye. C2: Bye</p> <p>目的地に着いたら、目的地の写真を持っている児童は、小布施シートにサインをする。</p> <p>④代表の児童に全体の前で道案内をさせる。            担任: Where is the~? 児童: OK. Go straight. 教師を実際に道案内する。</p> <p>⑤ペアになり、実際に道案内をする。            ⑥お互いに道案内をしたらペアを変えて道案内をする。            ⑦時間になったら、カードを持つ人と交代する。</p>	15

<p>自分の意志で選んで発話する活動</p>	<p>(3) 活動②【Where is ~?地図で道案内】</p> <p>①担任とALTで地図を使った道案内の例示をする。  ②グループに1枚ずつ小布施町の地図を配る。  ③グループ内で1人が外国人観光客の役になり、場所を聞く。  C1: Excuse me. C2: Yes.  C1: Where is ○○? C2: OK. Now here. Go straight. . . . .  C1: Thank you. C2: You're welcome.  C1: Bye. C2: Bye</p> <p>④グループ内で、役を交代しながら続ける。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価】  turn right等の表現を使って相手に分かるように説明し、目的地まで積極的に道案内しようとする。《行動観察》</p> </div>	<p>15</p>
<p>聞く活動</p>	<p>次単元の単語【国旗カルタヒントゲーム】</p> <p>①2人一組になる。  ②教師がヒントを言って子どもたちが取る。</p>	<p>10</p>
	<p>(5) 感想を書く。  感想用紙に記入をする。</p>	<p>5</p>

## 6年生 16時間目

【新しい表現】 Turn right.④

【ねらい】

小布施地図を使った道案内の場面で、turn right 等の表現を使って相手に分かるように説明し、目的地まで積極的に道案内しようとする。(コミュニケーション)

【準備品】 ①小布施地図 (ALT) ②道案内カード (ALT) ③国旗カルタカード (ALT)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	
自分の意志で選んで発話する活動	<p>(2) 活動①【Where is ~?地図で道案内導入】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《めあて》 地図を使って道案内をしよう。</p> </div> <p>①地図から自分が行きたい場所を5カ所選ぶ。 ②道案内をするときに気をつけるポイントを確認する。 ・相手に聞こえる声で ・相手の反応を見ながら ③担任とALTで例示をする。 道案内した人は、観光地の場所を○ 旅行者は、相手が上手に道案内をしてくれたか評価する。</p>	10
自分の意志で選んで発話する活動	<p>(3) 活動②【Where is ~?地図で道案内】</p> <p>①道案内する人と旅行者に分ける。 ②道案内する人は、自分の席に座っている。旅行者が道案内する人を訪ねていく。 C1: Excuse me. C2: Yes. C1: Where is ○○? C2: OK. Now here. Go straight. . . . . C1: Thank you. C2: You're welcome. C1: Bye. C2: Bye</p> <p>④時間になるまで色々な人で行う。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【評価】 turn right 等の表現を使って相手に分かるように説明し、目的地まで積極的に道案内しようとする。《行動観察》</p> </div>	20
聞く活動	<p>次単元の単語【国旗カルタヒントゲーム】</p> <p>①2人1組になる。</p>	10

	②教師がヒントを言って子どもたちが取る。	
	(5) 感想を書く。 感想用紙に記入をする。	5

道案内カード

【旅行者】

回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
行きたい場所										

【道案内】

回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
声が聞こえた										
反応を見ながら										

# 6年生 17時間目

【新しい表現】 I want to go to Italy.①

【ねらい】

ヒントクイズやビンゴの場面で、国旗の言い方や I want to go to America.の表現を聞いたり言ったりすることを通して、その表現に慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)

【準備品】 ①世界地図 (ALT) ②国旗カード (ALT) ③国旗カルタカード (ALT)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	
聞く	<p>(2) 導入【ALTの出身国の国旗について聞く。】</p> <p>①担任がALTの出身国の都市や国旗、食べ物について尋ねる。</p> <p>②ALTは、写真や絵・地図などを使って国の様子を伝えていく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>HRT:日の丸を掲示して、児童に What's this?と質問する。 子ども：日の丸。日本の国旗。</p> <p>HRT:赤丸を指さして、What's this?と質問する。 子ども：太陽。</p> <p>HRT:アメリカの国旗を掲示して、What's this?と質問する。 子ども：アメリカの国旗。</p> <p>HRT:★のマークを指し、What's this?と質問する。 子ども：・・・・。</p> <p>ジョー先生に聞く。</p> <p>HRT: In your country, what is famous? ジョー先生に聞く。</p> </div> <p>③ALTの話聞いて、担任がその国へ行ってみたいとなったことを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>《めあて》 色々な国の国旗や有名な物について学習しよう。</p> </div> <p>I want to go to America.</p>	10
聞く活動	<p>(3) 活動①【ヒントクイズ】</p> <p>①世界地図を黒板に掲示し、児童の手元にも用意させる。</p> <p>②担任とALTでヒントを出していく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>やりとりの例</p> <p>HRT:This flags is red This flag is red and yellow. It's famous for panda.What country is this? C: It'sChina. HRT:OK! Very good. HRT:Do you want to go to~.数人に聞く。</p> </div>	15

<p>聞く活動 口まねする活動</p>	<p>(4) 活動②【ビンゴ】</p> <p>①最初はALTが担任に国旗カードを引いてもらう。 ②慣れてきたら、児童に引かせ答えさせる。I want to go to～.の表現を口まねする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>やりとりの例</p> <p>ALT(or HRT):What country is this? C:It's America.</p> <p>ALT(or HRT):カードを引いた児童に質問。 ALT(or HRT):Do you want to go to America? C :Yes, I do./No.I don't.</p> <p>ALT(or HRT):全員に向かった質問する。 ALT(or HRT):Do you want to go to America? ALT(or HRT):Yes, I do. Raise your hand. ALT(or HRT):I want to go to America. C: I want to go to America.</p> </div> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【評価】</b> 外国の国名の言い方に慣れ親しみ、自分の行ってみたい国を紹介しようという意欲を持つ。〈行動観察・振り返りカードへの記入〉ア－② ウ－①</p> </div>	<p>15</p>
	<p>(5) 振り返り</p> <p>①単元の目標を提示し、行きたい国やその国に行きたい理由・行けたらやってみたいことなどを友達に伝えてみよう。と確認する。 ②感想を書く。</p>	<p>5</p>

資料

【日の丸の由来】諸説あるようですが、一例として。

日本では聖徳太子が遣隋使に託した文書以来、自国を"日出ずる国"とする考え方があり、赤い日の丸は日の出の太陽を象徴する。また紅白は日本の伝統色で、めでたいものとされており、赤は博愛と活力、白は神聖と純潔を意味するとも言われている。



## 6年生 18時間目

【新しい表現】 I want to go to Italy.②

【ねらい】

先生達がどんな国に行ってみたいかを当てる活動の場面で、Where do you want to go?あ I want to go to America.の表現を聞いたり言ったりすることを通して、その表現に慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)

【準備品】 ①世界地図 (ALT) ②国旗カード (ALT) ③先生達の行きたい国シート (ALT)  
④先生達の行きたい国イラスト(ALT)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ z	
聞く	<p>(2) 導入【ALT と HRT のやりとりを聞く】</p> <p>①担任と ALT が、自分の行きたい国について話す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>I want to go to~.</p> <p>以下の理由を付け足す。</p> <p><u>(事前に写真等を用意していただくとありがたいです)</u></p> <p>①I want to see~.</p> <p>②I want to eat~.</p> <p>③I want to play~.</p> <p>④I like~.</p> </div> <p>②それぞれが話した後に数人の児童に次のように聞いてみる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>本時の目標：先生達が、どんな国に行ってみたいのかを聞こう。</p> </div> <p style="text-align: center;"><b>Do you want to go to~.</b></p>	5
口まねする活動	<p>(3) 活動①【Let's Chant】</p> <p>①CD のリズムに合わせて、以下の表現を言ってみる。</p> <p>②最初は、担任と ALT で例示をする。</p> <p>③慣れたきたら、児童も一緒に歌わせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>教師：Where do you wanna(want to)go? Where do you wanna go?</p> <p>教師：do you wanna go? do you wanna go?</p> <p>児童：I wanna go to○○○. I wanna go to○○○.</p> <p>児童：○○○. ○○○.</p> </div> <p>※覚えさせる必要は、ありません。</p>	5

<p>聞く活動 口まねする活動</p>	<p>(4) 活動②【先生達の行きたい国を当てよう】</p> <p>①事前に各担任に『行きたい国調査用紙』に記入しておいてもらう。 ②担任は、紹介する先生を一人選ぶ。(この先生がどこに行きたいかを当てる) ③ALT が、Where do you want to go?と質問をする。担任は、ヒントを答える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【やりとりの例】</p> <p>ALT: Hello. I'm Joe. . . .</p> <p>HRT: Hello. Where do you want to go?</p> <p>ALT: I want to go to ~. (国名を言わないでおく)</p> <p style="padding-left: 20px;">I like mountain. I like Sushi.</p> <p style="padding-left: 20px;">What country is this?</p> <p>C: Hint please.</p> <p>ALT: OK. I like salmon. I like maple syrup.</p> <p style="padding-left: 20px;">I want to see Niagara Falls. I like Anne of Green Gables.</p> <p>C: It's Canada.</p> <p>ALT: OK. Very good. I want to go to Canada.</p> <p>以下、子ども達に言わせる。</p> <p>C:Where do you want to go.</p> <p>ALT: I want to go to Canada.</p> </div> <p>④慣れてきたら、児童にヒントを出す役をやらせる。(担任が補助をする)</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【評価】</p> <p>先生達が行ってみたい国やその国の様子について興味を持って聞こうとする。(行動観察・振り返りカードへの記入)</p> </div>	<p>25</p>
	<p>(5) 振り返り</p> <p>①次回は、自分が行きたい国の旅行チケットを買う活動をすることを伝え、学習カードに自分が行きたい国とその理由を書かせる。 ②感想を書く。</p>	<p>10</p>

※事前に『先生達の行きたい国シート』を使って、先生方にインタビューをしておく。  
※インタビューを元に、その国行きたい理由の写真やイラストを用意する。

## 6年生 19時間目

### ※平成22年度 校内研究学習指導案参照

【新しい表現】 I want to go to Italy.③

【ねらい】 旅行代理店でチケットを買う場面で、Where do you want to go? I want to go to～. の表現を使って相手に行きたい国とその理由を伝えたり、相手の行きたい国を聞き取ってチケットを販売したりすることを通して、相手の目を見て場面に応じた丁寧な表現を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする。(コミュニケーション)

【準備品】 ①

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	
聞く	(2) 導入【.】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">本時の目標：先生達が、どんな国に行ってみたいのかを聞こう。</div>	15
聞く活動 口まねする活動	(3) 活動②【】 <div style="border: 3px double black; padding: 10px; margin-top: 10px;">【評価】 〈行動観察・振り返りカードへの記入〉</div>	15
	(4) 次単元の活動【】	10
	(5) 振り返り ②感想を書く。	5

## 6年生 20 時間目

【新しい表現】 I want to go to Italy.④

【ねらい】自分が行きたい国やその理由を考える場面で、前時のビッグチケットや教師が準備した資料を基にスピーチ内容を考えグループの中で練習をすることを通して、自分の思いを相手に伝えようとしている。(コミュニケーション)

【準備品】①前時に作った big チケット (児童) ②英語ノート (児童)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	
聞く活動	(2) 導入【英語ノート P39 の Let's Listen.】  ① ALT に CD の内容を話してもらい、登場する 4 人がどこの国に行きたいかについて聞き取り、答えをノートに記入するように伝える。 ② ゆっくり話したり、2 度話したりして聞き取りやすいようにする。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">《めあて》自分の行きたい国を紹介しよう。</div>	15

自分の 意思で 発話す る活動	<p>(3) 活動②【What time is it?同じ時刻の時計探し】</p> <p>①自分の行きたい国について話せそうなことや大切にしたいことを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【言えそうなこと】</p> <p>あいさつ Hello. 名前 My name is ~.行きたい国 want to go to~. 理由 I like ~. I want to see~. I want to eat~.</p> <p>【大切なこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に伝わるように話す。・絵や写真を使って話す。</li> <li>・アイコンタクトを使って話す。</li> </ul> </div> <p>② 自分の言いやすい表現を使っていいことや、完全な文にならなくてもいいことを伝え、一人一人考える。うまく表現できない時は、ALT や HRT に相談することを伝える。写真やイラストがないときも一緒に探したり考えたりする。前時で使った Big ticket も活用させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>例 Hello. My name is ~.I want to go to China. I like panda. I like gyoza. Thank you.</p> </div> <p>③およその準備ができたなら、お隣同士や班の中でスピーチの練習をする。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px;"> <p>【評価】</p> <p>自分が行きたい国とその理由について考え、英語で言おうとしている。 (行動観察)</p> </div>	25
	<p>(4) 振り返り</p> <p>②感想を書く。</p>	5

## 6年生 21 時間目

【新しい表現】 I want to go to Italy.⑤

【ねらい】スピーチ発表の場面で、前時に作ったビックチケットを使いながら自分の行きたい国やその理由を発表しあうことを通して、積極的に自分の思いを伝えようとしている。

(コミュニケーション)

【準備品】①英語ノート等発表に必要なもの (児童)

段階	活動	時間
聞く	<p>(1) あいさつ</p> <p>(2) 導入【スピーチの例示.】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>《めあて》</p> <p>：自分の行きたい国を友だちに紹介しよう。</p> </div> <p>①担任と ALT がモデルスピーチをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Hello.などのあいさつで始まり、Thank you.で終わることを確認する。</li> <li>● よい例と悪い例をやって、スピーチの大切なことを思い出させる。</li> </ul>	10

自分の 意思で 発話す る活動  聞く活 動	(3) 活動②【スピーチ】  ①最初は、生活班でスピーチを行う。 ②2回目は、同じ地域や国ごとに集まって行う。 ●聞き取った内容を、一人が終わった後に、日本語でメモさせるようにする。  <div style="border: 3px double black; padding: 5px;"> <p>【評価】 積極的に友だちに伝えたり、友だちの行きたい国について聞き取ろう としている。〈行動観察・振り返りカードへの記入〉</p> </div>	30
	(4) 振り返り ②感想を書く。	5

## 6年生 22 時間目

【新しい表現】 What time do you get up?①

【ねらい】世界の時間の活動で、世界の色々な国の時刻を記入することを通して、世界には時差があることに気がつく。(言語や文化)

【準備品】①一人1つの腕時計(ALT) ②英語ノート(児童) 月名イラスト(ALT)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	
聞く	(2) 活動①【世界の時間(英語ノート P44.45 を使って)】 ①時計の模型を示して、ALT と担任で What time is it? と質問する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《めあて》 今、何時かを聞こう。</p> </div> ②英語ノート P44,45 を開かせる。 ③場所を確認してから、時計に時刻を記入させる。 教師：Where is Tokyo? 場所を確認する。 児童：What time is it? みんなで言わせる。	15

	<p>教師：It's8:00. 以下繰り返し行う。 ④時差について簡単に触れる。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px;"> <p><b>【評価】</b> 日本の時刻との違いに気付きながら、世界の国の時刻を記入している。〈行動観察・振り返りカード〉</p> </div>	
口まねする活動	<p>(3) 活動②【What time is it?同じ時刻の時計探し】</p> <p>①一人1枚ずつ時刻が書かれた紙の腕時計を渡す。</p> <p>②担任とALTが交互に、数人にWhat time is it?と質問する。 教師:What time is it? 児童:It's~.</p> <p>③同じ班の人同士で、お互いにWhat time is it?と質問をし合う。</p> <p>④同じ時刻の時計を持っている友だちを捜す活動の例示を示す。 ※教師が例示する。 教師:Excuse me.児童:Yes. 教師:What time is it? 児童:It's〇〇. 教師:It's〇〇. 同じだったら、Me, too.と言いペアになる。 違っていたら、Bye.をして違う友だちの所へ行く。</p> <p>⑤それぞれが自分と同じ時刻の時計を持っているかを聞きに回る。</p>	15
	(4) 次単元の活動【月名の導入 英語ノート P16】	10
	(5) 振り返り ①感想を書く。	5

## 6年生 23時間目

【新しい表現】What time do you get up?②

【ねらい】私の日課表作り活動で、担任やALTがイラストカードを示しながら質問するWhat time do you~?を繰り返し聞きながら自分のシートに記入することを通して、What time do you~?の表現に慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)

【準備品】自分の日課表シート(ALT) ②動作イラストカード(ALT) 月名イラスト(ALT)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	

聞く	<p>(2) 活動①【私の日課表作り①】</p> <p>①担任と ALT でイラストを示しながら、お互いに What time do you~? の質問をしあう。その都度児童にも質問をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《めあて》</p> <p>What time do you~? を使って友達の 1 日について質問をしよう。</p> </div> <p>②日課表シートを 1 人 1 枚配布する。 Get up ,eat breakfast, go to school, eat dinner, take a bath, go to bed, do homework のイラストの横に時刻を書く。</p> <p>③教師が質問したら、自分がそれをする時刻を記入する。 教師：What time do you get up? 児童：シートに記入する。</p> <p>④以下繰り返す。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px;"> <p>【評価】</p> <p>教師の質問に反応しながら、自分のシートに時刻を記入している。 (行動観察・振り返りカードへの記入)</p> </div>	15
聞く活動 口まねする活動	<p>(3) 活動②【教師から児童への One by one】</p> <p>①教師が一日の生活を説明する。絵カードを使いながら説明する。 I get up at ○○.</p> <p>②絵カードを見せながら、児童に What time do you get up? 等質問する。 教師：What time do you get up? 児童：At 7:00. 教師：You get up at 7:00. と繰り返してあげる。</p> <p>③色々なバージョンで全員に 1 回は、質問する。</p>	15
	<p>(4) 次単元の活動【月名のキーワードゲーム】</p> <p>①1 月～6 月までのイラストカードを使って、キーワードゲームをする。</p>	10
	<p>(5) 振り返り</p> <p>②感想を書く。</p>	5

## 6 年生 24 時間目

【新しい表現】 What time do you get up?③

【ねらい】 何時に～しているか予想ゲームや Who am I ?クイズ活動で、友達と 1 日の生活について質問したり答えたりすることを通して、積極的に交流を図っている。

(コミュニケーション)

【準備品】 自分の日課表シート (児童) ②動作いらすとカード (ALT) 月名イラスト (ALT)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	



記憶し自分の物にする活動	<p>(2) 活動①【何時に～しているか予想ゲーム】</p> <p>①get up ,eat breakfast, go to school, eat dinner, take a bath, go to bed, do homework の絵カードをグループに1セット用意する。          ②児童一人に1枚引かせる。          ③他の子は、その児童が何時に～をするか(引いたカード)を予想する。          ④みんなでその子に英語で質問をする。          児童全：What time do you get up? 児童：I get up at○○.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《めあて》            What time do you~?を使って友達の1日について質問をしよう。</p> </div> <p>⑤同様のことをグループ内で一人ずつ同様に行っていく。</p>	15
自分の意思で選んで発話する活動	<p>(3) 活動②【Who am I?クイズ①】</p> <p>①Who am I?クイズをやる事を告げる。          ②前時の日課表シートをバラバラになるように配布する。          ③1人が前にでる。          ④他の子たちが質問をし、その人になりきって答える。          児童：What time do you get up?          児童：I get up at○○.          ⑤繰り返し色々と質問する。          ⑥グループで相談して誰の日課表か考える。          ⑦正解を確かめる。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px;"> <p>【評価】            みんなと一緒に英語で質問し、誰のカードかを楽しみながら考えている。(行動観察・振り返りカードへの記入)</p> </div>	15
	<p>(4) 次単元の活動【月名のキーワードゲーム】</p> <p>①7～12月までのイラストカードを使って、キーワードゲームをする。</p>	10
	<p>(5) 振り返り</p> <p>②感想を書く。</p>	5

## 6年生 25時間目

【新しい表現】What time do you get up?④

【ねらい】1番○○なのは誰?活動で、友達と1日の生活について質問したり答えたりすることを通して、相手の目を見て積極的に交流を図っている。(コミュニケーション)

【準備品】①インタビューシート (ALT) ②英語ノート (児童) 月名カルタ (ALT)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	
自分の意思で	<p>(2) 活動①【1番○○なのは誰?インタビュー①】</p> <p>①教師が、1つの列の子どもたちを立たせてWhat time do you get up?と質</p>	15

選んで発話する活動	<p>問をすることを告げる。学級の子達には、誰が一番早起きかを想像させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>《めあて》 学級で一番～なのは誰かを探そう。</p> </div> <p>② “1 番早く起きるのは誰か？” “1 番早く朝ご飯を食べ始めるのは誰か？” 等午前・午後で友だちに聞いてみたい項目を 1 つ決める。</p> <p>③教師が例示をする。 教師：Hello. 児童：Hello. 教師：What time do you get up? 児童：I get up at○○. 交代して聞く。 教師：Bye. 児童：Bye.</p> <p>④グループ内でお互いに質問をしあう。</p> <p>⑤何を質問して、誰が 1 番○○だったかを紹介する。</p>	
自分の意思で選んで発話する活動	<p>(3) 活動②【1 番○○なのは誰？インタビュー②】</p> <p>① “1 番早く起きるのは誰か？” “1 番早く朝ご飯を食べ始めるのは誰か？” 等午前・午後で友だちに聞いてみたい項目を 1 つ決める。</p> <p>②教師が例示をする。 活動①と同様に行う。</p> <p>③時間を決めて、できるだけたくさん友だちに質問をする。</p> <p>④何を質問して、誰が 1 番○○だったかを紹介する。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【評価】 相手の目を見ながら、積極的に質問したり答えたりしている。 (行動観察・振り返りカードへの記入)</p> </div>	15
	<p>(4) 次単元の活動【月名カルタ】</p> <p>①一人 1 セットの月名カルタを用意してカルタゲームを行う。</p> <p>②時間があれば、ペアでカルタゲームを行う。</p>	10
	<p>(5) 振り返り</p> <p>②感想を書く。</p>	5

## 6 年生 26 時間目

### 【新しい表現】 When is your birthday?①

【ねらい】日本とアメリカの祝日が何月かを考える場面で、日本やアメリカでの祝日や行事を聞くことを通して、日本とアメリカの月ごとの行事や祝日の共通点や相違点に気付く。(言語や文化)

【準備品】 ①月毎の行事カード (ALT) ②月名のイラストカード(ALT)  
③月のカルタ(ALT)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	

聞く	<p>(2) 【この祝日は、何月？】</p> <p>①今日は、何月かを聞く。英語で何というか知っているか聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《めあて》 英語での月の言い方やアメリカの月の行事を知ろう。</p> </div> <p>①教師が、英語で月を言い、英単語の文字カードを見せる。 ②教師が祝日等のヒントを言い、何月かを子どもたちに答えさせる。 ③教師：ひな祭り。When is it? (祝日を書いてある文字か絵を見せる) 児童：3月 教師：Yes. It's March. 児童：It's March. ④アメリカでは、その月にどんな行事があるかを ALT が説明する。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【評価】 日本とアメリカの月ごとの行事(祝日)の共通点や相違点に気付いている。(行動観察・振り返りカードへの記入)</p> </div>	20
聞く	<p>(3) 活動② 【一人カルタ】</p> <p>①一人ずつ12ヶ月分のカルタを机に並べる。 ②1回目は、月名だけを教師が言って、児童が取る。 ③2回目は、その月のヒントを教師が言って、児童が取る。</p>	10
聞く	<p>(4) 次単元の活動 【職業名ヒント①】</p> <p>①職業名のヒントクイズを行う。</p>	10
	<p>(5) 振り返り ②感想を書く。</p>	5

## 6年生 27時間目

【新しい表現】 When is your birthday?②

【ねらい】 サザエさん一家の誕生日を聞く場面や序数ゲームの場面で、教師や友達が言う序数の言い方を聞いたり、一緒に口まねしたりすることを通して、序数の言い方に慣れ親しむ。  
(外国語への慣れ親しみ)

【準備品】 ①サザエさん一家のイラスト (ALT) ②英語ノート (児童)

段階	活動	時間
口まね	(1) あいさつ	

聞く	<p>(2) 活動①【サザエさん一家の誕生日を埋めよう】</p> <p>①サザエさん一家のイラストを一人ずつ見せて、名前を聞いていく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《めあて》 サザエさん一家の誕生日を聞こう。</p> </div> <p>Who is this?</p> <p>②黒板に全員のイラストをはったら、児童にシートを配る。 ③教師が、一人ずつにつき、ヒントを出しながら誕生日を言う。 ④子どもたちは、教師が言った誕生日をシートに記入していく。</p>	15
聞く 口まね	<p>(3) 活動②【序数の言い方を聞く。】</p> <p>【序数の言い方①】(英語ノート2 P18 Activity)</p> <p>①自分の月を書く。 ②CDを聞いて、自分の誕生日の日付を言ってみる。 ③2回くらい繰り返して行う。</p> <p>【序数ゲーム】指導資料 P47 参照。</p> <p>① 4人程度のグループになる。 ② 順番を決め、1番の児童から、順に1～31の序数を言っていく。一人 が言える序数は、1～3個で、3個以内なら行くでも良い。順に言っ ていき、31の序数をいわなければならなくなった児童がアウトになる。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【評価】 1～31までの序数を言おうとしている。(行動観察)</p> </div>	15
聞く	<p>(4) 次単元の導入【職業名ヒント②】</p> <p>①職業名のヒントクイズを行う。</p>	10
	<p>(5) 振り返り</p>	5

## 6年生 28時間目

【新しい表現】 When is your birthday?③

【ねらい】 有名人の誕生日を聞く活動や自分の誕生の言い方を練習する場面で、教師や友達と When is your birthday?を使ってお互いの誕生日を聞いたり言ったりすることを通して、誕生の言い方に慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)

【準備品】 ①有名人の写真 (ALT) ②英語ノート(児童)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	5

チャンツ When is your birthday?		
聞く	<p>(2) 活動①【有名人の誕生日は、いつかな】</p> <p>①有名人の写真を一枚ずつ見せる。</p> <p>②子ども達にその有名人の誕生日を知っているかどうか聞く。</p> <p>Who is this? When is her birthday?</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《めあて》有名人や友達の誕生日を聞こう。</p> </div> <p>③黒板に写真をはり、誕生日を黒板に記入する。</p> <p>【序数の言い方②】(英語ノート2 P19 Let's Listen)</p> <p>①CDを聞きながら、誕生日の番号を入れていく。</p> <p>②CDを流したままだと分からなくなる。一文ずつ止め、教師がリピートする。名前と誕生日の所はゆっくり言う。</p>	15
聞く 記憶	<p>(3) 活動②【自分の誕生日を言ってみよう】</p> <p>①次の時間に学級の誕生日表を作ることを伝え、そのために自分の誕生日を英語で言えるように練習することを伝える。</p> <p>②担任とALTが分かれてOne by oneでWhen's your birthday?と質問していく。</p> <p>③お隣同士で質問をする。</p> <p>④グループの中で順番に質問をする。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【評価】</p> <p>教師や友達の言い方を真似て、自分の誕生日を言おうとしている。 (行動観察)</p> </div>	15
口まね	(4) 次単元の活動【職業名キーワードゲーム】	5
	(5) 振り返り	5

## 6年生 29時間目

【新しい表現】 When is your birthday?④

【ねらい】 友達の誕生日を聞く場面で、相手の目を見たり、丁寧な言い方で誕生日を言ったり、聞いたりすることを通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。  
(コミュニケーション)

【準備品】 ①誕生日記入ノート(児童) ②職業名カルタ(ALT)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	5

	チャンツ When is your birthday?	
発話	<p>(2) 活動①【友達の誕生日インタビュー】①</p> <p>《めあて》友達の誕生日を聞いて、誕生日表を完成させよう。</p> <p>①誕生日記入シートを配布する。 ②教師が例示を示す。 教師：Hello. When is your birthday 児童：My birthday is～. When is your birthday? 教師：My birthday is～.Bye. 児童：Bye.</p> <p>【評価】 英語を使って、相手とコミュニケーションを楽しんでいる。 〈行動観察・振り返りカードへの記入〉</p> <p>③何月が何人か等全体で確認する。</p>	25
	(3) 活動②【なし】	
	<p>(4) 次単元の活動【職業名カルタ】</p> <p>①一人1セットで職業名のカルタを配る。 ②教師が言った職業名のカルタをとる。</p>	10
	(5) 振り返り	5

## 6年生 30時間目

【新しい表現】 I want to be a teacher.①

【ねらい】

有名人や先生達の子どもの頃の夢を聞き誰のことを考える場面で、ALT や担任が写真やジェスチャーを交えて話す英語を聞くことを通して、I want to be～.や既習の表現の英語に慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)

【準備品】 ①有名人の子どものころの夢作文 (ALT)

②学年の先生方の子どものころの夢(ALT)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	
発話	(2) 活動①【有名人の夢】(担任の先生お願いします) ①有名人の子どもの時の“将来の夢作文”(日本語)を紹介して、誰のこと をか当てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             《めあて》子どもころの夢を聞いて、誰のことかを考えよう。           </div> ②作文を読んだ後に、I want to be~. Who am I?と訪ねる。 ※I want to be~.を強調	10
	(3) 活動②【校内の職員の子どもの時の夢】 ①校内の職員の子どもの頃の写真を拡大コピーして見せる。 ②児童みんなで What do you want to be?と聞く。 教師：I want to be~. Who am I?と訪ねる。 <div style="border: 3px double black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>【評価】</b>              What do you want to be?をみんなで言ったり、I want to be~              を聞いたりして楽しんで活動をしている。(行動観察・振り返りカードへ              の記入)</p> </div>	20
	(4) 次単元の活動【職業名カルタ】 ①一人1セットで職業名のカルタを配る。 ②教師が言った職業名のカルタをとる。	10
	(5) 振り返り	5

## 6年生 31 時間目

【新しい表現】 I want to be a teacher.②

【ねらい】

世界の子どもの夢ランキングを考える場面で、ALT や担任の出すヒントを参考にしながらどんな職業がランキングに入るかを考えることを通して、他国の子ども達の夢に興味を持つ。(言語や文化)

【準備品】 ①世界の子どもの夢 (ALT) ②職業名カルタ(ALT)

段階	活動	時間
----	----	----

	(1) あいさつ	0
聞く	<p>(2) 活動①【世界の子ども達の夢ランキング】          (※ランキングについては、別資料参照)</p> <p>①国別の子ども達の夢を考えることを伝える。          ②日本から始める。ベスト5の内、いくつかは出しておき、残りの順位を当てようとする。          ③グループ毎に考えさせて、シートに記入して発表させてもよい。          ※英語で言えない職業は、日本語で言わせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《めあて》 色々な国の子達の将来の夢を考えよう。</p> </div> <p>教師が分かれば、英語で答える。</p> <p>④他の国についても同様に進める。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【評価】</b>          ALT や担任のヒントを参考にして、他国の子ども達の夢を積極的に考えている。(行動観察・振り返りカードへの記入)</p> </div>	20
口まね	<p>(3) 活動②【職業名ビンゴ】</p> <p>①絵カードは、英語ノートの巻末シートだけでなく、英語ノート P62,63 Let's enjoy3 を印刷して利用する。          ②自分のカードから 16 枚を選び、4×4 で並べる。          ③教師が、1 人ずつ児童に質問をする。答えたカードを裏返す。          教師：What do you want to be? 児童：I want to be~.          ④慣れてきたら What do you want to be?と全員で質問する。</p>	20
	(5) 振り返り	5

## 6 年生 32 時間目

【新しい表現】 I want to be a teacher.③

【ねらい】 What do you want to be?や I want to be a~の表現を使ってお互いに質問する場で、相手の目を見たり、丁寧な言い方を将来の夢を聞いたり言ったりすることを通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。(コミュニケーション)

【準備品】 ①ランキング記入用紙 (ALT) ②英語ノート(児童)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	5



	チャンツ What do you want to be?	
	<p>(2) 活動①【学級の友だちの夢を考えよう】</p> <p>①前時の活動（日本や他国の子ども達の夢ランキング）を振り返り、学級の友だちの夢ランキングはどうなるかを想像する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《めあて》学級の友だちの夢ランキングを作ろう。</p> </div> <p>②グループごとに相談して男女別 1 位～3 位までを用紙に記入する。</p>	15
記憶し自分のものにする活動	<p>(3) 活動②【自分の夢を書こう】</p> <p>①英語ノート P60 の Activity①に自分の夢と理由を記入する。</p> <p>②ALT と担任が 1 人ずつに質問する。(one by one)          担任：What do you want to be? 児童：I want to be~.          担任：That's good.等反応をする。</p> <p>③班ごとで練習をする。          メンバー：What do you want to be? 子ども：I want to be~.</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【評価】            グループの中で積極的に質問したり、相手に分かるようにはっきりと答えている。〈行動観察・振り返りカードへの記入〉</p> </div>	20
	(5) 振り返り	5

※事前に将来の夢を考えておくように話をしてください。

## 6 年生 33 時間目

【新しい表現】 I want to be a teacher.④

【ねらい】 What do you want to be?や I want to be a~の表現を使ってお互いに質問する場面で、相手の目を見たり、丁寧な言い方を将来の夢を聞いたり言ったりすることを通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。(コミュニケーション)

【準備品】 ①英語ノート (児童) ②学級名簿(担任)

段階	活動	時間
----	----	----

	(1) あいさつ チャンツ What do you want to be?	5
発話	(2) 活動①【将来の夢アンケート】  ①友だちにインタビューして、学級の夢ランキングを調べることを話す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">《めあて》友だちの将来の夢を聞いて、学級のランキングを調べよう。</div> ②学級名簿を1人1枚配布する。 ③教師が例示をする。 教師：Hello. 児童：Hello. 教師：What do you want to be? 児童：I want to be~. 教師：That's good.等反応をする。 ※交代して児童が質問する。 ※Why?を聞くかどうするか?  ④時間の中でできるだけ沢山の友だちに質問し、名簿に記入する。 <div style="border: 3px double black; padding: 5px;">【評価】 英語を使って、相手とコミュニケーションを楽しんでいる。 (行動観察・振り返りカードへの記入)</div>	30
	(3) 活動②【学級の夢ランキングを完成させよう】  ①男女別の学級のランキング表に職業を記入していく。	10
	(4) 振り返り	5

## 6年生 34時間目

【新しい表現】先生との面接・ローマ字の復習

【ねらい】教師との面接をする場面で、教師からの質問に慣れたしんだ英語を使って答えることを通して、相手の目を見ながら自分の伝えたいことを話そうとしている。

(コミュニケーション)

【準備品】ローマ字プリント (ALT)

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	

<p>自分の 意思で 発話す る活動</p>	<p>(2) 活動①【先生とのインタビュー】</p> <p>①1年間のまとめとして、今年学習した表現を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ What's your name?</li> <li>・ How old are you?</li> <li>・ Do you like~?</li> <li>・ What~do you like?</li> <li>・ Do you have a~?</li> <li>・ How many~?</li> <li>・ Can you~?</li> <li>・ Where do you want to go?</li> <li>・ What time do you~?</li> <li>・ What do you want to be?</li> </ul> <p>等の表現を使って、教師が児童に質問をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《めあて》 先生と面接をしよう。</p> </div> <p>②それぞれの表現の練習として全体の前で、教師が児童数名に上記の表現を質問する。</p> <p>③ALT と担任で面接のやり方を例示する。 アイコンタクト・はっきりと聞こえるように答える。等のポイントを確認。</p> <p>④ALT と担任に分かれて面接を一人1～2分程度行う。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【評価】 ・相手の目を見て相手に聞こえる声で話している 《行動観察》</p> </div>	
	<p>(3) 活動②【ローマ字の復習】</p> <p>①面接をしていない児童は、ローマ字プリントを行う。</p>	
	<p>(5) 感想を書く。 感想用紙に記入をする。</p>	

## 6年生 35時間目 (時間調整・UNO大会)

【新しい表現】

【ねらい】

【準備品】

段階	活動	時間
	(1) あいさつ	

	<p>(2) 活動①【】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《めあて》</p> </div>	
	<p>(3) 活動②【】</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【評価】 ・。《行動観察》</p> </div>	
	<p>(4) 次単元の単語【なし】</p>	0
	<p>(5) 感想を書く。 感想用紙に記入をする。</p>	10